

2020年9月14日

苫小牧社会保障推進協議会
会長 宮崎 有広
公印省略

医療・介護従事者に新型コロナウイルス感染症にかかる行政検査の拡大を求め る要請書

【要請趣旨】

市民の生活と地域経済を守るため、日夜ご奮闘されていることに敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症は未だ勢いが衰えたと言えず、この秋から冬にかけてインフルエンザの流行と重なって、市内での流行、蔓延が危惧されるどころです。万が一クラスターが発生した場合に、極めて影響が大きくなる医療・介護従事者において、適切にPCR検査をはじめとする検査が受けられる環境を整えることは急務と思われまます。そこでこの課題に関して、以下、要請します。

【要請事項】

- 一、 医療機関、高齢者施設等に勤務する職員に、広く行政検査を実施すること。
- 二、 医療機関、高齢者施設等に入院、入所している者及び、新規に入院、入所する者に対しても行政検査を受けられる仕組みを作ること。
- 三、 上記行政検査が適切に実施されるよう、苫小牧市として国・北海道にも働きかけること。

【要請の理由】

多くの研究から、新型コロナウイルスの一般的な状況における感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染です。しかし閉鎖空間において近距離で会話するような一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等の症状が無くても感染を拡大するリスクがあるとされています。また、発症前2日の者や無症候の者からの感染の可能性も指摘されています。冬にかけて密を避けづらい環境に向かう中、より早い段階で感染の有無を確認していく必要があります。

今般厚労省から、医療機関や高齢者施設での勤務者に対し、幅広く行政検査を行うことが可能とされました（令和二年七月十五日付 事務連絡）。検査前確立が高いと考えられる地域（保健所管内）において、施設内における新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために行政検査を実施することは可能ですので、適切に実施いただくようお願い致します。

以 上